

# 令和6年度 学校経営の方針

北海道中札内高等養護学校

- 生徒の実態
- 保護者の願い
- 学校の願い
- 地域社会の期待
- 社会・経済情勢

学校教育目標	
心豊かに 生きる力を育てる	
具体目標	
1	心身の健康を維持・増進する力
2	人と関わる力
3	自分を整える力
4	主体的に生活する力
5	意欲的に働く力

- 憲法、教育基本法、諸法令
- 学習指導要領
- 北海道教育のめざす姿
- 十勝管内教育推進の重点
- 特別支援教育の動向
- 心の大地なかさつない教育宣言

校訓「仲良く 明るく たくましく」

学校経営の基本方針	
1	生徒が生き生きと学習し、生きる力を育む学校
2	保護者に信頼され、生徒の自立を託される学校
3	教職員の専門性を高め、やりがいのもてる学校
4	地域社会に開かれ、必要とされる学校
5	協働体制による組織力を強化し、全職員が人材育成の意識を高め、学校運営へ参画する学校

中期目標（令和5年度～7年度）	
1	一人一人の生徒の的確な実態把握に基づき、全ての学習場面において障がいの特性に応じた能力を最大限伸ばさせる指導の充実を図る。
2	ICTを活用した指導の充実、学習間の連携並びにセンター的機能の充実を図る。
3	教科別の指導及び各教科等を合わせた指導での学びを活用・発揮できるようP-D-C-Aサイクルでの評価・改善を行い、教育課程の充実を図る。
4	コミュニティスクールを中心に地域との連携の在り方を明確にし、就労支援の充実を図る。

本年度の重点	
1	5つの具体目標の実現を目指す
2	各教職員が学教教育目標をめざし、一人一人が仕事にやりがいのもてる環境づくり

各学年、分掌等の重点目標					
学年	1学年	・学校生活に見通しを持ち、安心感のもと、将来の生活について考え、自分らしい生き方を決定していくための基本的な力を身に付ける。	研究	・授業づくりを通して、生徒の主体的にかかわる力を育成する効果的な方策を検証する。 ・校内研修や校外研修などを通して、教職員個々の専門性を高め、指導力の向上を図る。	
	2学年	・将来の生活について考え、仲間と高め合いながら、より良い学校生活を送るために挑戦し学ぶことができる。	情報教育	・情報セキュリティの向上を重視し、情報機器の保守・点検及び整備を行う。 ・学年や他分掌、寄宿舎などと連携し、ICT教育を推進する。 ・クラウドサービス（Googleクラスルーム、Googleドライブ等）の活用に向けて、準備を進める。	
	3学年	・自己実現に向けて学校生活を前向きに考え、主体的に行動する生徒を育成する。	保健体育	・保健指導、体育的活動、食育を通じて生涯にわたって生徒が主体的に健康の保持増進、体力向上を図ることができるように努める。 ・学年、寄宿舎と連携を取りながら、健康状態の把握に努める。 ・体育施設、教室環境設備の維持改善に努める。	
学科		・見通しを持った指導をするために、学習計画や指導方針を職員間で共有し計画的な実施に努める。 ・学科間及び関係部署などと連携し、計画・運営に努める。	学舎連携	・生徒の学校生活や寄宿舎生活での課題や問題に対して、教務、舎務職員が連携及び協力し対応できるように推進する。 ・教務、舎務の各部署と連携し、行事等の情報共有及び調整を行う。	
寄宿舎	男子棟	・自己の感情や行動の調整	分掌	舎務	・生徒指導の充実を図るための勤務割り振りに努める。 ・関係部署と連携を深め、円滑な舎務運営を行う。 ・安定して情報機器が活用されるように努める。 ・学校教育目標を達成できるようテーマを設定し、年間計画に基づいた研修を推進する。
	女子棟	・自立した生活に向けて、自分に必要な力を知ることができるように支援する。		生活	・生徒情報を学舎で共有し、共通理解のもと生活指導・支援に努める。 ・舎友会（生活部）活動を通じ、携帯電話使用における基本的なルールやマナーの周知・定着を図り、卒業後の生活をより意識した寄宿舎生活を送ることができるよう支援・指導に努める。 ・問題発生時は学舎で情報共有し、早期解決に向けた指導・支援に努める。
事務		・生徒の学習環境の充実を図る。 ・ICT教育の充実に向けて、関係部署と連携して進める。 ・地域に開かれ、必要とされる学校を実現するために、事務側から協力ができることがあれば、関係部署と連携して進める。	舎友会	・舎生が主体的に意見を出し合い実行できるよう、適切な場面での助言に努める。 ・ブロック会議や部会を通じ、問題点や課題解決に向け舎生間で話し合い、解決していく力を育てる。	
分掌	教務	・地域との連携を深めた特色ある教育課程の編成を進める。 ・教育課程検討委員会と連携し、学校行事の在り方について具体的な検討を進める。 ・年間学習計画や単元指導計画について、改善に向けて課題の整理を進める。	今年度の研究テーマ		
	総務	・PTA事業の活性化及び充実した活動を目指し、PTAによる教育活動への主体的な参画と共同を推進する。 ・学習環境の整備に努めるとともに各関係機関及び外部業者との計画的な連携を推進する。			
	生徒指導	・生徒が自主的に意見を出し合い、より良い生徒会活動や行事等の見直しを図る。 ・生徒が抱える複雑化・多様化した問題や課題を解決するための生徒指導体制を整備する。 ・安心・安全な学校を継続するため各部署と連携し、それぞれの業務を遂行する。			
	進路指導	・現場実習開拓及び進路開拓を計画的に進め、地域で学べる環境を整えると同時に、地域や前提となる実習先の協力を得ながら、生徒にとって充実した実習の機会となるよう調整にあたる。 ・中札内村での雇用及び生活の場の確保を推進できるよう、体験実習等で生徒の実態を受入先の事業所と共有していく。			
教務		生徒の主体的にかかわる力の育成を目指した授業実践～「単元の計画」「中・長期的な取組」を明確にした授業づくり～			
寄宿舎		寄宿舎スマホ解禁・導入に向けて、ルール・マナーのガイドラインを制定するにあたり、職員のICT活用の知識・情報モラルの意識の向上を図りながら、実践の記録をとる。			